

各位

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 代表者 代表取締役社長 川口 修
 (コード番号 7551)
 問合せ先責任者 専務取締役商品本部長兼管理本部長 谷越 時義
 (TEL 03-5753-8201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,600	10	10	10	2.27
今回発表予想(B)	8,082	18	36	32	7.60
増減額(B-A)	△517	8	26	22	
増減率(%)	△6.0	85.5	262.7	229.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	9,161	△15	55	21	4.84

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,500	450	450	210	47.61
今回発表予想(B)	20,000	450	450	210	48.45
増減額(B-A)	△1,500	0	0	0	
増減率(%)	△7.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	21,447	278	305	111	25.09

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,800	0	0	0	0.00
今回発表予想(B)	6,255	5	9	18	4.34
増減額(B-A)	△544	5	9	18	
増減率(%)	△8.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	7,039	3	52	15	3.49

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,500	400	400	190	43.07
今回発表予想(B)	16,500	400	400	190	43.84
増減額(B-A)	△1,000	0	0	0	
増減率(%)	△5.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	17,197	268	278	134	30.39

修正の理由

(1)平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績の修正理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第2四半期の決算進捗状況を踏まえ、見通しを勘案した結果、売上高は下方修正、営業利益、経常利益、四半期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

主たる要因は、売上高については自動車関連卸売事業のスチールホイール及び廉価ホイール等の売上が前回発表見込み時より約540百万円減少したことで、全体では約518百万円減収になる見込みであります。一方利益面は、減収による落ち込みを運賃、宣伝費等の販売費削減で約100百万円、為替差益で約38百万円カバーし、当初見通しを上回る見込みとなりました。

従って、第2四半期累計連結業績予想を、売上高8,082百万円(前回予想比6.0%減)、営業利益18百万円(前回予想は10

百万円の営業利益)、経常利益は36百万円(前回予想は10百万円の経常利益)、四半期純利益は32百万円(前回予想は10百万円の四半期純利益)にそれぞれ修正いたします。

(2)平成22年3月期通期連結業績予想の修正理由

通期の経済状況や市場動向につきましては、引き続き厳しい状況が続くと見込んでおりますが、当第2四半期連結累計期間連結業績の決算進捗状況を踏まえ、第3四半期及び第4四半期の為替差益の増加要因と販売費の削減等を織り込んでおります。

従って、売上高は下方修正、営業利益、経常利益、当期純利益は当初発表予想数値のままいたします。

このような状況により通期の連結業績予想を売上高は20,000百万円(前回予想比7.0%減)に修正いたします。また営業利益450百万円(前回予想通り)、経常利益450百万円(前回予想通り)、当期純利益210百万円(前回予想通り)といたします。

(3)平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績の修正理由

当第2四半期個別累計期間の業績につきましては、第2四半期の決算進捗状況を踏まえ、見通しを勘案した結果、売上高は下方修正、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ上方修正いたします。

主たる要因は、売上高については自動車関連卸売事業のスチールホイール、廉価アルミホイール等の売上が前回発表見込み時より約540百万円減少したことで、全体では約544百万円減収になる見込みであります。一方利益面は、減収による落ち込みを運賃、宣伝費等の販売費削減で約75百万円、為替差益で約38百万円でカバーし、当初見通しを上回る見込みとなりました。

従って、第2四半期累計個別業績予想を、売上高6,255百万円(前回予想比8.0%減)、営業利益5百万円(前回予想は0百万円の営業利益)、経常利益は9百万円(前回予想は0百万円の経常利益)、特別利益を19百万円を計上したため四半期純利益は18百万円(前回予想は0百万円の四半期純利益)にそれぞれ修正いたします。

(4)平成22年3月期通期個別業績予想の変更理由

通期の経済状況や市場動向につきましては、引き続き厳しい状況が続くと見込んでおりますが、当第2四半期累計期間個別業績の決算進捗状況を踏まえ、第3四半期及び第4四半期の為替差益の増加要因と販売費の削減等を織り込んでおります。

従って、売上高は下方修正、営業利益、経常利益、当期純利益は当初発表予想数値のままいたします。

このような状況により通期の個別業績予想を売上高は、16,500百万円(前回予想比5.7%減)に修正いたします。また営業利益400百万円(前回予想通り)、経常利益400百万円(前回予想通り)、当期純利益190百万円(前回予想通り)といたします。

(注)業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上